

土木学会図書館映像データベースの再構築と今後の課題

東京都立田無工業高校
独) 海技教育機構

高橋広行
正会員 ○瀧川正一

1. はじめに

土木学会土木技術映像委員会(委員長:大野春雄)では、土木技術者の啓発ならびに土木技術の普及を効果的に行うため、土木技術に関する映像について研究し、それを効果的に活用することにより、土木技術の継承および共有化を推進することを目的として、工事記録や災害記録、土木にかかわる歴史などの土木技術に関する映像作品を網羅的に調査・収集・整理のうえライブラリを構築し、資料的価値や教育的価値など色々な価値をもつ映像作品を多様な角度から評価し、研究や調査、啓蒙などの活動に容易に利用可能な環境を整備するとともに、あらゆる機会を通じて公開・発信する場を設ける活動を行っている。

このような活動をする中で、外部への情報発信手段の一つである映像データベースの情報を充実し、より使いやすいものへと今回リニューアルする作業を開始したので報告する。

2. データベースの現状

現在、土木学会における映像のデータベースは、図書館が管理する「土木図書館所蔵リスト」、当委員会で管理する「選定映像データベース」、土木技術映像の所在調査報告書最終版に基づく現在構築途中の「映像作品所在データベース」が存在する(図-1)。残念ながらこれらのデータベースには相互にデータの共有がなく、それぞれがバラバラに更新されているのが現状である。このため、映像を検索する場合はそれぞれのデータベースを個々に検索し映像の有無を確認する作業が必要になっており、データの共有化若しくはデータベースの一元化が望まれている状況であった。

3. データベース再構築のための準備

今回内容を再精査し一元化するにあたっては、当委員会の「土木図書館所蔵リスト」と「選定映像データベース」を対象とし、映像の所在と保管形式、データベース未収録の確認を行うこととした(図-2)。現在500作品を超える土木図書館所有の土木技術映像を中心にカテゴリー別に分類・検索可能とすることを目的とし、まず、これらリストの再確認を行った。「土木図書館所蔵リスト」は図書館に登録された順、「選定映像データベース」は選定された順で整理されているが、映像そのものは「土木図書館所蔵リスト」の登録順で保管されており、その点の一元化も目指した。また「選定映像データベース」で整理されている「土木技術映像委員会選定映像」、当委員会で発刊した「土木技術映像100特選ガイド」選定作品および「土木学会映画コンクール受賞」受賞作は「土木図書館

映像データベース

- コンテンツを複製

【選定映像DB】
昭和40年に制定された土木学会「土木技術映像選定制度」により選定された土木技術映像約500本の書誌情報と選定コメント及び所在情報が検索できます。

- 選定映像作品検索はこちらから
- 選定映像作品リスト(1995年以降)
- 選定映像作品リスト(1995年以前)

【土木図書館所蔵リスト】
土木図書館では土木技術映像委員会と連携し、寄贈のあった選定映像やその他の映像650本を「映像ライブラリー」に登録しており、会員をはじめ、土木に関心のある方々に視聴・貸出サービスを行っています。

- ビデオリスト
- フィルムリスト(DVDでの視聴も可能です)

【映像作品所在DB】 工事中!
昭和45(1970)年から5年ごとに行ってきた土木技術映像の所在調査報告書の最終版(1996年版)のデータベース

図-1 土木学会HPにおける映像データベースの案内

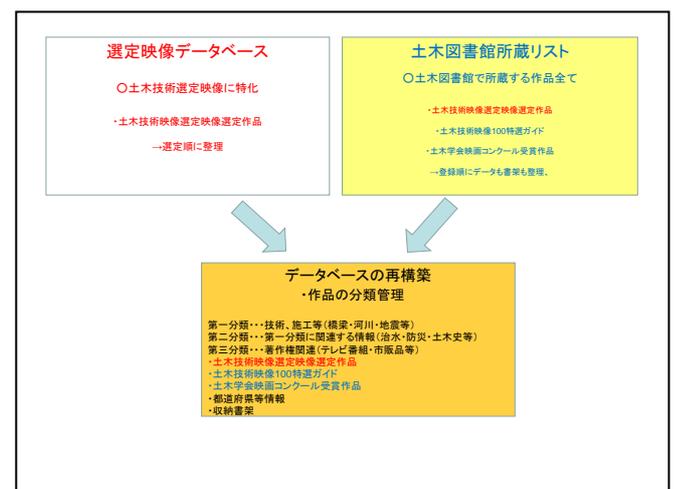


図-2 所蔵映像のデータ内容と保管状況の確認

連絡先 〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園(公社)土木学会附属図書館 TEL 03-3355-3596

所蔵リスト」でもカバーできるので、登録作品が多い「土木図書館所蔵リスト」をベースにDB再構築を行うこととした。

所蔵映像は、取り上げられているテーマが多岐にわたるので、同じ技術・施工等の作品を整理し、また土木技術映像委員会が提供する作品リストであるということを念頭に置き、技術や施工の分類をメインとした上で、カテゴリーを3分類とすることとした。第一分類は個別のテーマの技術・施工等、第二分類では必要に応じ第一分類に関連するテーマ、第三分類では、著作権法等の観点からの作品取り扱いを考慮し、「テレビ番組」「市販品」など、上映等にあたって慎重な取り扱いが必要な情報も記載した。「選定映像データベース」で整理していた「土木技術映像委員会選定映像」および「土木技術映像100特選ガイド」、「土木学会映画コンクール受賞」に該当する作品も検索できるようにした。作品の都道府県情報でも検索可能とし、全国大会等で主催地関連の作品を上映する際の一助とした。備考欄には他の受賞記録とともに、上映等に事前許可が必要な可能性のある作品に対し「要使用許可確認」と記し、上映等の際のトラブルを未然に防ぐことも考慮した。作品番号横には実際に作品が収納されている書架に記号を付し提示し、イブニングシアター等、当委員会主催の企画の準備の際に、委員自らが必要な作品を取り出すことができるようにした。

4. 使いやすいデータベースの検討

作表にはマイクロソフト・エクセルを使用した(図-3)。エクセルには「オート・フィルター」という楕丸から同じ文字を抽出する機能があるので、作品に関する情報の列すべてにこの機能を付した。例えば地震関係の作品を検索する場合は、第一分類の項目行に付した「オート・フィルター矢印」をクリックし、チェックが付いたカテゴリー一覧を表示し、地震以外のチェックを外すと、「地震」の作品群が表示される。

土木技術映像資料一覧(例)														
No.	書架	タイトル	制作等	概要	第一分類	第二分類	第三分類	時間(分)	制作年	土木技術映像委員会選定映像	土木技術映像100特選ガイド	土木学会映画コンクール受賞	都道府県等	備考
359	B	民衆のために生きた土木技術者たち	企画:大成建設 / 制作:日映企画		土木一般	土木史		65	2005	選定 No.221002	土木技術映像100特選ガイド(75)	第22期(2006年)土木学会映画コンクール最優秀賞		英語版(No.431)、中国語版(No.432)あり
384	B	大災害から1世紀—富士川に注がれた研究と情熱—	企画:山梨県河川防災センター / 制作:アソビエーブル(制作:著作)【協力】国土交通省甲府河川国道事務所【制作協力】YBS山梨放送、ファーストビジョン		水害		テレビ番組	28	2005	選定 No.221008	土木技術映像100特選ガイド(74)		山梨県	要使用許可確認

土木技術映像資料一覧(第一分類で検索・・・「地震」)														
No.	書架	タイトル	制作等	概要	第一分類	第二分類	第三分類	時間(分)	制作年	土木技術映像委員会選定映像	土木技術映像100特選ガイド	土木学会映画コンクール受賞	都道府県等	備考
18	A	轟った秋田港—日本海中部地震からの復興	企画:運輸省第一港秋田港工事事務所		地震	復興		32	1983	選定 No.401900		第12期(1983年)土木学会映画コンクール最優秀賞	秋田県	
44	A	地震災害に備えて	企画:建設省関東地方建設局企画課 / 制作:松崎プロダクション		地震	防災		30	1988					
66	A	関東大震災と世界の友情	企画:建設省関東地方建設局企画課 / 制作:ソニーエージェンシー(制作:著作)【協力】国土交通省関東地方建設局企画課、建設省関東地方建設局国際部【制作協力】NHK		地震	国際支援		19	1992	選定 No.403040	土木技術映像100特選ガイド(33)		関東地方	

土木技術映像資料一覧(「土木技術映像100特選ガイド」で検索)														
No.	書架	タイトル	制作等	概要	第一分類	第二分類	第三分類	時間(分)	制作年	土木技術映像委員会選定映像	土木技術映像100特選ガイド	土木学会映画コンクール受賞	都道府県等	備考
265	B	阪神・淡路大震災による道路の被災と復旧	企画:建設省近畿地方建設局 / 制作:運輸省安全技術センター、日本センター		地震			20	1995	選定 No.170082	土木技術映像100特選ガイド(38)		近畿地方	
288	B	ニッポン近代化遺産への旅	企画:大成建設 / 制作:日本映画新社		土木一般	土木遺産		62/30(短縮版)	1998	選定 No.181004	土木技術映像100特選ガイド(46)	第19期(2000年)土木学会映画コンクール最優秀賞		
289	B	石を繋げる—石橋文化を築いた人びと—	企画:文化工房 / 制作:文化工房		建築	土木史		38	1996	選定 No.170111	土木技術映像100特選ガイド(40)	第17期(1996年)土木学会映画コンクール最優秀賞		

図-3 新しいデータベースの形式と構成

必要に応じ第二分類、第三分類からも選べば、さらに絞った検索もできるようになる。また第二分類、第三分類を中心にした検索もできるようにした。新着映像及び未登録映像の登録は、従来通り登録順であっても分類・書架の場所の表示で検索できるので、改めて登録順等を組み直す作業は発生しない。

5. 今後の課題と展望

資料分類については、大分類で大きな範囲を示し、続いて小分類で個別範囲を絞り込むのが基本である。しかし、先に述べた通り映像作品が登録順で収納されている状況を鑑み、今回の分類とした。ただし委員会内での運用の中で意見等あれば見直し、精度を高めていきたい。またHP等で一般利用者への利用促進を図る場合、バナー等から分類表を開けるような手段も必要と考えている。将来的には他の関連映像情報も一元的に集約していき、広範な範囲からアーカイブが可能となる方向で整理していきたい。